

# 大腸がん検診を受けよう

## 大腸がんは診断される方が増えています！

大腸がんはこの30年で6倍に増え、男性は前立腺がんが続いて第2位、女性も乳がんが続いて第2位の多さです。

## がん部位別死亡数(2020)

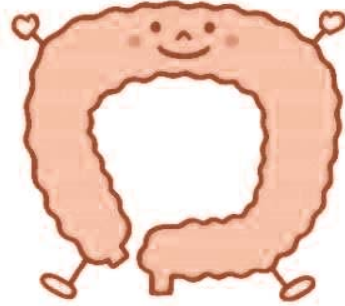
	男性	女性
第1位	肺	大腸
第2位	胃	肺
第3位	大腸	膵臓

がん部位別死亡数をみると女性の死亡原因第1位。男性でも第3位です。

死亡数が多い原因のひとつに、検診受診率（精密検査を含む）の低さが挙げられます。

## 大腸がんは早期発見・早期治療でほぼ治る病気です。

早期がん（限局）の5年相対生存率は97.3%です。



早期の大腸がんでは自覚症状がほとんどありません。

検診で見つかったがんのうち、60%は早期がんです。検診は早期発見への近道です。

## 大腸がん検診（便潜血検査）とは？

便が大腸を通過する際に、がんやポリープなどこすれて出血することがあります。便潜血検査では便に血液が付着していないかを調べます。便を採取して検査をするいわゆる検便です。食事制限や負担もなく、自宅でできる簡単な検査です。検診受診率は男性47.8%、女性40.9%にとどまっています。(2019年)

## 便潜血検査が陽性の場合、必ず精密検査を！

陽性となっても「大腸がん」と決まったわけではありません。

「異常なし」となることもあります。

中には、ポリープ・潰瘍性大腸炎・クローン病・痔核などの別の疾患が見つかることもあります。

原因を知るために精密検査を受けましょう。

## 気になる症状があれば医療機関の受診を！

検診で陰性であっても、気になる症状があれば受診をして医師に相談をしましょう。

- ・便に血が混じる・付着する
- ・便が細くなった
- ・便秘や下痢を繰り返す
- ・腹痛や腹部にしこりがあるなど

## 精密検査はどんなことをするの？

大腸内視鏡検査や注腸X線検査、X線大腸CTなどの検査を受けます。腫瘍やポリープの有無、大きさや深さなどが分かります。薬を飲んで腸をきれいにしてから検査を受けます。どの検査を受けるかは、精密検査を受ける医療機関にご相談ください。



## 精密検査受診率は69.8%です。

「痔だから…」「生理の後だったから…」「去年は大丈夫だったから…」と精密検査を受けていない人はいませんか？ **精密検査までが大腸がん検診**です。

「大腸がんだったら…」とためらってしまうかもしれません。

でも本当に怖いのは、気付かない間に病気が進行してしまうことではないでしょうか。

40歳以上の市民の方は  
年度に1回受診することができます。

お申込み方法は左ページをご参照ください。

毎年大腸がん検診を受けることで  
死亡する可能性が

**60～80%減少**します。

（『有効性評価に基づく大腸がん検診ガイドライン』より）